



次世代に つなげる森林づくり

平成 27 年 7 月 8 日

平成二十七年度少しユニークな
新規課題を紹介します。
※竹取物語？二つの課題！

★課題名

①「竹を利用したシカ害対策について」

◆開発目的

・シカ被害対策は、低コスト再造林体系の確立に喫緊の課題となっており、頂芽を保護するシカ食害防止クリップの検証を実施しています。が、側枝の被害やクリップによるストレスの可能性等課題もあるところです。その対応策として、地域から有効利用が期待され、かつ軽量で有機物であることから撤去が不要な「竹」を利用した、苗木保護柵(食害防止柵)がシカ被害に有効であるか検証します。

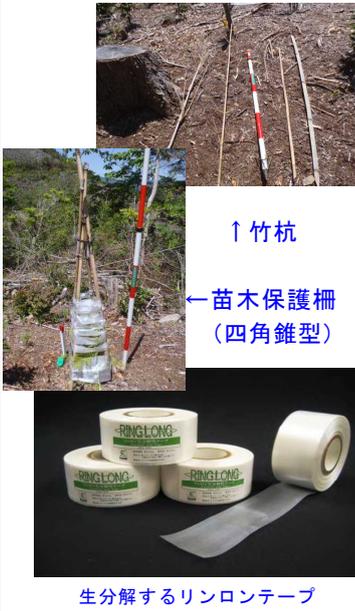
◆試験地(安芸森林管理署管内)
・安芸郡北川村栃谷山二〇七九い林小班

◆試験内容

・モウソウチク・メダケを利用して、竹の幹部、枝付き部を数本組み合わせた柵で、植栽木の周りを囲み、併せて剥皮防止に効果があり生分解するリンロンテープを巻き付ける等、様々なタイプの食害防止柵を設置して、シカ被害に有効なタイプを検証します。

◆開発期間

・平成二十七～二十九年



◆各種保護柵



★課題名
②「モウソウチク林整備の一考察」

◆開発目的

・近年、竹、特にモウソウチク等の侵入被害が増加し、森林管理局にも「何らかの対策を教える」という要望が寄せられています。また、竹の拡大により、侵入被害が拡大する等、自然系への悪影響も懸念されることから、放置の竹の整地等も危険な資材の採取から枯らす手法の検証も実施します。

◆共同研究機関
・(国研法)森林総研四国支所
・高知県立森林技術センター

◆試験地
・高知県立森林技術センター内
・高知線と水の会

・高知県香美市土佐山田町大平八〇

◆試験内容
・伐開した竹藪に試験地4区画を設定しました。伐採した竹株の節に根茎まで穴を開けて水(融雪剤・塩入り)を入れ根茎が腐り枯れるのが検証します。

◆開発期間

平成二十七～二十八年度



◆今年の春に入れ様子を観察中です。塩水を入れ様子を観察中です。

区画	竹(伐採本数)	穴開け	融雪剤(塩)		
			1回目	2回目(1ヶ月)	3回目(2ヶ月)
1	30本	0	x	x	x
2	39本	0	0	x	x
3	32本	0	0	0	x
4	35本	0	0	0	0
対照区	27本	x	x	x	x

区画	筒(伐採)	穴開け	融雪剤(塩)	
			1回目	2回目
1	0	0	0	x
2	0	0	0	0
3	0	0	0	0
4	0	0	0	0
対照区	0	x	x	x

◆秋期には根茎部分の掘り起こしにより、根の張り具合・腐朽状況等について詳しく調査を実施します。